

神戸市国際化推進大綱（概要版）

1. 趣旨

企業誘致や観光に関する国内外の競争激化など、都市の国際化を進める上で、最近の神戸や日本を取り巻く環境の変化は著しいものがあります。このような状況の下で、神戸が国際ビジネスの拠点となり、有能な人材を集積させ、神戸経済の発展、都市の活性化を図るためには、神戸が有する国際的なインフラを充実させ、神戸を「国際人が集い、国際人が育つまち」として独自の魅力をみがき、世界に情報発信していく必要があります。

今後、海外との多角的な都市間交流や神戸の経験・ノウハウに基づく国際貢献を一層推進するとともに、「住環境」「多文化共生」「教育」「医療・健康」「防災・安全」など、神戸の“強み”や“独自性”を活かした創造的なまちづくりを進め、文化の多様性を認め、互いに尊重し合い、豊かで潤いのある市民生活が営まれる国際化先進都市をめざして、「神戸市国際化推進大綱」を策定します。

2. 目指すべき都市像

『神戸独自の魅力を活かし、国際的な交流と文化の多様性が市民生活を豊かにするまちづくり』

- ・国際競争力に優れたビジネス拠点が発展するまち
- ・魅力ある観光・コンベンション資源を創り発信するまち
- ・外国人が住みやすく国際人が集い・育つまち
- ・多角的な海外都市間交流と経験・ノウハウを活かした国際貢献を進めるまち
- ・多文化を認め合い互いに尊重し合うまち

3. 目標年次

2015年度（平成27年度）

4. 位置づけ

「神戸づくりの指針」（目標年次：2025年）、「神戸2015ビジョン」（目標年次：2015年度）、「区別計画」（目標年次：2015年度）から構成される、まちづくりの基本的な姿勢を示した第5次神戸市基本計画が2010年度に策定されますが、これに加えて様々な行政分野における事業計画を内容とする部門別計画を策定し、連携・相互補完することを通じて基本計画に掲げる施策の実現を目指します。

「神戸市国際化推進大綱」は、「神戸2015ビジョン」と相互に補完・連携を図る部門別計画のひとつとして位置づけられます。

5. 施策の展開

第1章 国際競争力に優れた魅力輝くまち

(1)国際ビジネス拠点、外国・外資系企業誘致

- ①神戸医療産業都市構想、デザイン都市のさらなる推進、次世代スーパーコンピュータとの連携強化
- ②グローバルな事業展開を目指す市内企業に対する市の有するネットワーク等による支援
- ③国の規制の特例措置や税制、金融面での支援などを戦略的に行う「総合特区制度」の創設をめざす取り組み
- ④オフィス賃料補助制度や進出後のサポート体制など外国・外資系企業誘致の推進

(2)コンベンションを核とするMICE誘致、国際観光の推進

- ①MICE（企業等の会議、企業の報奨・研修旅行、国際会議、イベント）誘致の積極的推進
- ②「温泉」「神戸ビーフ」「洋菓子」「清酒」「こうべ旬菜」など、神戸独自の資源や健康・安全を活かした観光客誘致
- ③外国人観光客にわかりやすい効果的なプロモーションや観光地間のアクセス情報の提供
- ④外国人観光客が買い物や食事をしやすい環境づくり

(3)国際芸術・文化活動の充実

- ①神戸フルーツコンクール等国際的にも評価の高い文化芸術イベントや神戸ビエンナーレ、姉妹都市等から誘致する文化交流イベントなどの開催
- ②「神戸マラソン」などを通じた、市民が自然に国際交流を行える機会の充実
- ③若手アーティストの活動の場の提供

(4)シティセールスの強化

- ①インターネットによる効果的・効率的な情報提供、ブログ、ツイッター等の活用
- ②外国特派員向けの神戸紹介ツアーや姉妹都市における神戸紹介イベントの開催
- ③JET（語学指導等を行う外国青年）経験者や留学生、神戸への赴任経験者など、「神戸ゆかりの人材」のネットワークづくりとシティセールスの担い手としての活用

(5)留学生支援とネットワーク整備

- ①留学生への就職活動支援や神戸でのユニークな体験プログラムの実施を通じた神戸への愛着の向上
- ②帰国後も神戸との関係を保つためのサポートや、同窓会など人的ネットワークの整備

第2章 個性ある国際的都市基盤が整ったまち

(1)領事館等の誘致、外国人学校・外国人クラブ等への支援

- ①領事館等の誘致、領事館等主催イベントの誘致・開催協力
- ②企業誘致の観点からの外国人学校・外国人クラブ等への支援

(2)国際的人材の育成

- ①子供達に対する効果的な英語教育、神戸らしい英語教育の実現
- ②国際理解教育や多文化共生に関する教育の機会の充実

(3)神戸港・神戸空港の活性化

- ①「国際コンテナ戦略港湾」としてアジアにおける神戸港の地位向上
- ②神戸空港の機能充実・規制緩和の実現

(4)多言語情報によるホスピタリティの向上

- ①外国語表記による観光案内板、歩行者系案内サイン等の拡充
- ②公共交通機関における各種表示の多言語化の推進、受入側の初歩的な語学研修

第3章 海外都市間交流と国際貢献を先導するまち

(1)多角的な都市間交流の展開

- ①相互利益型・課題解決型交流など実質的な成果をもたらす交流の推進
- ②「特定の政策分野」について交流を行う新たな提携
- ③特定のテーマや分野において複数の都市が共通課題等に取り組む「多都市間ネットワーク」形成
- ④国際都市会議の誘致・開催による交流とシティセールスの推進
- ⑤経済発展の著しいアジア諸国との都市間交流の拡大
- ⑥民間団体や市民による国際交流、特に青少年交流活動への支援

(2)神戸の経験・ノウハウを活かした国際貢献の推進

- ①被災経験から得た教訓を基にした研修の実施や「防災福祉コミュニティ」等の世界に向けた発信
- ②市が有する防災技術やまちづくりのノウハウを活用し、地元民間企業が有する技術と一体化させた都市インフラの海外への提供

第4章 多文化交流と融合が進むまち

(1)多文化交流を支える基盤づくり

- ①Webページの特性を生かした、多言語化による即時かつ正確な情報提供
- ②市内の多言語パンフレット等の情報の一元的な把握・管理による利便性向上
- ③神戸国際コミュニティセンターの広報・周知、区役所・関係機関との連携強化、専門知識についての研修による相談窓口機能の充実
- ④日本語学習、日本語指導方法の充実についての支援強化
- ⑤外国人児童・生徒への学習支援並びに母語教育・母国文化を学ぶ機会提供
- ⑥外国人コミュニティや外国人支援団体との連携強化

(2)安全で安心な暮らしやすいまちづくり

- ①多言語による防災情報提供の充実、災害対応・防災活動における外国人コミュニティ・支援団体等との連携
- ②ニューカマーのための医療通訳の体制整備など保健・医療サービスの多言語化
- ③介護保険制度などの多言語での広報・周知
- ④外国人に対する住宅情報の多言語化
- ⑤外国人労働者に対する日本語教育、相談対応の充実

(3)異なる文化・伝統の理解と偏見・差別意識の解消

- ①多文化共生社会を目指した人権啓発事業の内容の工夫と充実
- ②学校園での人権教育の推進や多様な異文化にふれ理解を深める教育の充実
- ③外国にルーツを持つ児童・生徒が母語や母文化を保持できる環境づくり

(4)互いに尊重しあえる地域社会の形成

- ①市政アドバイザーや各種委員会への外国人市民の委嘱、「神戸市外国人市民会議」のさらなる活用
- ②外国人市民が地域活動に参加しやすい環境づくりや、多文化共生イベントの開催

**目指すべき
都市像**

神戸独自の魅力を活かし、国際的な交流と文化の多様性が市民生活を豊かにするまちづくり

施策の展開

**国際競争力に優れた
魅力輝くまち**

**個性ある国際的都市
基盤が整ったまち**

**海外都市間交流と国際
貢献を先導するまち**

**多文化交流と
融合が進むまち**

- 国際ビジネスの拠点づくり
- 外国・外資系企業誘致体制の整備
- コンベンションを核とする MICE 誘致の推進
- 国際観光の推進
- 国際芸術・文化活動の充実
- シティセールス・ツールの充実
・インターネット等を活用したきめ細かな情報提供
・神戸ゆかりの人的ネットワークの活用
- 留学生への支援とネットワークの整備
- 領事館等の外国公館の立地促進
- 外国人学校への支援
- 外国人クラブ等への支援
- 国際的人材の育成
- 神戸港の地位向上
- 神戸空港の活用
- 多言語情報によるホスピタリティの向上
- 多角的な都市間交流の展開
・相互利益型・課題解決型交流の推進
・多都市間ネットワーク交流の推進
・国際都市会議による交流の推進
・PIAにおける都市間交流の推進
- 民間団体・市民間交流の促進
- 神戸の経験やノウハウを活かした国際貢献の推進
・被災経験を活かした国際貢献
・防災整備に関する国際貢献
- 多文化交流を支える基盤づくり
・多言語による情報提供の充実
・多言語相談窓口の充実
・日本語学習の支援
・外国人児童・生徒に対する教育の充実
・外国人コミュニティ等との協働の推進
- 安全で安心な暮らしやすいまちづくり
・防災、危機管理の推進
・保健・医療サービスの多言語化
・福祉の推進
・居住の安定の確保
・適正な雇用・労働環境の確保
- 異なる文化・伝統の理解と偏見・差別意識の解消
・多文化共生の基礎となる人権啓発の推進
・国際理解教育の推進
・民族の伝統・文化の維持、交流の支援
- 互いに尊重しあえる地域社会の形成
・市政への参画推進
・地域社会への参加